

ステージに立つ“スター”の、今この時の輝きを切り取る



© Lyuta Ito (Lasp Inc.)

(取材／2018年10月)

Photographer／代表取締役 伊藤 厚子
×
ゲスト 佐藤 蛾次郎

DATA :

Lasp 舞台写真(株)

東京都葛飾区柴又 7-14-23-307
URL : <http://www.lasp.co.jp>

Lasp 舞台写真マガジン

URL : <http://lasp.co.jp/magazine/>

Lasp 公式ツイッター

URL : <https://twitter.com/laspstagephoto>

——社名の通り、御社では舞台写真を撮影されているそうですね。

ええ。舞台・コンサート写真をメインに、CDジャケット写真やプロフィール写真などの撮影も行っています。私自身、かつて舞台に立った経験があり、演者の気持ちが分かるというのが強みですね。

——同じ芸能畑でしたか！ 伊藤社長はどのようなご経歴で？

若いころは芸能事務所に所属し、映画に少し出演したこともありましたが、それから人生経験を積もうと一般企業に就職しましたが、働きながら音楽活動や舞台・テレビ出演など、様々な活動をしてきましたね。もちろんフォトグラファーとしても活動しており、50歳を目前に「写真で食べていこう」と決意して、昨年、『Lasp 舞台写真』を設立しました。まさに「五十にして天命を知る」でしたね。——様々な経験をされてきた中で、なぜお写真に天命を見出されたのでしょうか。

幼少期からあらゆる事象、特に「星」が与える影響力に興味があり、よく天体観測をしていました。小学生のころから父のカメラを借りて宇宙に影響を与える星々を撮影したのが、私とカメラとの出会いであり、原点ですね。昔は天体を撮っていた少女が、今は舞台に立つ“スター”を撮っている。どちらも「自らの輝きで周囲を照らす」という意味では共通しています。その輝きを伝えることこそが私の使命だと、人生の折り返し地点に立った時、思い至ったのです。

——社長の人生の集大成が、この事業なのですね。写真は“真を写す”。ぜひ真の輝きを写し、伝えていって下さい。

ありがとうございます。これからも輝きを目撃者として、日本のミュージシャンや舞台俳優、輝くスターたちを撮影し、世界に発信していきたいと思っています。そうして、日本と世界との文化の橋渡しの役割も担えれば嬉しいですね。